

建築研究資料

Building Research Data

No. 116

March 2009

平成20年度 超長期住宅先導的モデル事業 の応募提案の評価

本橋健司、有川智、鹿毛忠継、眞方山美穂、
古賀純子、根本かおり、西尾信次

独立行政法人 建築研究所

Published by

Building Research Institute

Independent Administrative Institution, Japan

はしがき

独立行政法人建築研究所は、より良い住宅・建築・都市を実現するため、公的研究機関として公平・中立な立場を活かした研究開発を実施し、その成果を社会・国民に還元することにより、真に豊かさの実感できる国民生活の実現と経済・社会の発展に貢献することを基本的役割としています。この役割を果たすために、平成 20 年 4 月から国土交通省により募集が行われている「超長期住宅先導的モデル事業」の応募提案の評価を担っています。同モデル事業は、住宅の寿命を延ばす「長期優良住宅」の普及推進を図る国土交通省の施策の一環として実施され、計 2 回行われた平成 20 年度募集では、900 余もの提案がなされ、非常に大きな反響がありました。建築研究所では所をあげて評価に取り組むと共に、外部の学識経験者による評価委員会を設置し、慎重に審査・評価を行いました。

本資料は、平成 20 年度の応募提案、評価の経過及び結果、採択された提案を総括し、とりまとめたものです。同モデル事業は、平成 24 年度まで実施が予定されており、今後の提案のための検討資料として、また、長期にわたる住宅の使用に向けて住宅・建築産業に関わる多くの方々の今後の検討資料として役立てていただくため、広く公開することと致しましたので、ご活用賜れば幸いです。

最後に、超長期住宅先導的モデル事業の評価にあたっては、巽和夫委員長(京都大学名誉教授)をはじめとする評価委員会の委員各位に多大な協力を賜りました。ここに改めて御礼申し上げます。

平成 21 年 3 月

独立行政法人 建築研究所理事長
村上 周三